

平成27年度みやぎ小中学生いじめゼロCMコンクール応募作品についてのコメント

No. 1

グループ名	大河原町立大河原小学校 新聞委員会 6年2組	指導者	嶋 紀恵子 先生
作品名	「勉強いっぱい」「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>大河原小学校は、「勉強いっぱい」「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」の学校をめざしています。「いじめはしません。」「いじめは人として許されないことです。」「いじめをすることは、はずかしいこと。」と、みんなが思う温かい学校を846名の仲間であげていこうという気持ちをこの作品にこめました。</p>			

No. 2

グループ名	岩沼市立岩沼小学校 企画委員会	指導者	北澤 直樹 先生
作品名	「友達との絆 いじめゼロ宣言」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>友達との絆を感じる場面から、友達との良さやすばらしさについて感じてもらいたいと思います。児童会が中心になって「いじめゼロ」の学校を目指していきます。</p>			

No. 3

グループ名	岩沼市立岩沼西小学校 いじめゼロ委員会	指導者	鈴木 芳実 先生
作品名	「みんなで目指せ いじめゼロ」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>ぼくは、いじめゼロ委員会に入り、CMづくりをして、つぎのようなことを考えました。1つ目は、いじめは絶対にしてはいけないということ。2つ目はみんなが平等に仲良く楽しく生活してほしいということ。3つ目は、相手の気持ちを考え、知らない人でも、いじめられていたら勇気を出して止めに入り、いじめをなくすということです。みなさんもこのことを気にかけて、いじめをなくすようにしてください。</p>			

No. 4

グループ名	白石市立福岡小学校 かしの木児童会	指導者	鈴木 慎吾 先生
作品名	「いじめゼロへ」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>作品の中にあるように、クラスが、学校が、日本が、世界が幸せになるように、笑顔になるように、絶対にいじめを生まない、いじめを防いでほしいという願いをこめて制作しました。最後の「いじめゼロへ！！」というところには、いじめで苦しんでいる人、居場所がない人への励ましといじめをしてしまっている人の気持ちのきりかえになればいいなという思いをこめました。</p>			

No. 5

グループ名	気仙沼市立小原木小学校 こだま児童会	指導者	千葉麻利子 先生
作品名	「みんな仲良しいじめゼロ」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>いじめはぜったいにしてはいけないことで、もし、している人がいたらやめてほしいと思います。理由は、いじめられた人は傷つくし、すごく悲しい気持ちになるからです。</p> <p>私たちの学校は、いじめがなく、みんななかよくすごしています。いじめがない学校はとても楽しいです。いじめのない学校の良さを伝えたいです。</p>			

【小学校の作品】

No. 6

グループ名	白石市立白石第二小学校 いじめバスターズ	指導者	小澤 裕 先生
作品名	「みんな笑顔の学校に」		
作品を通して訴えたいこと		作品の時間	15秒
<p>いじめは絶対だめです。それは、いじめられた側はとても悲しい思いをして笑顔でいられなくなるからです。声をかけられても怖い顔したり気付いているのに無視したり、……。そんな小さなことが積み重なって大変なことになるのだと思います。</p> <p>だれも一人きりになることなく、みんながお互いを大切にしよう。学校中のみんなが相手を思いやる気持ちを持つこと。そして学校中に笑顔があふれていれば、いじめなんかなくせるんだということを考えて、このCMをつくりました。</p>			

【中学生の作品】

No. 7

グループ名	大河原町立大河原中学校生徒会	指導者	棟方 亜季 先生
作品名	「君の居場所はすぐそこに」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>いじめが起こっている環境として3つの立場が存在する場合があります。いじめる人間、いじめられる人間、そしてそれを見ている人間の立場です。いじめは、いじめる人間といじめられる人間との問題と思いがちですが、実際、いじめられている人間としては、周りの人間が誰も助けてくれない、声をかけてくれないといった環境さえも自分がいじめられていると感じてしまうもの。つまり、見ている人間、第三者にとっては些細な一言でも、いじめられている人間にとっては、大きな心の支えになることがあるのです。この作品のように「一緒に帰ろう」と声をかけてあげる……。そんな小さなことでも構わないのです。ですから、できるだけ早く、救いの手を出すことが重要です。取り返しのつかないことにならないうちに、第三者は気付いてあげてほしいです。助けられる命、守ってあげられる命があることを。自分が自分でいられる場所があると早く伝えてあげてください。今回のビデオは第三者の視点というのを考えて制作しました。最後のメッセージは「第三者でもこうすればいいんだ。」と気付いてもらうとともに、このビデオを見ている人にも言い聞かせています。</p>			

No. 8

グループ名	石巻市立山下中学校 生徒健全育成ボランティア「シリウス」	指導者	小松 隆 先生
作品名	「友達の良いところを見つけて！」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>この作品の制作をとおして、改めて感じたことがあります。それは、人には欠点がありますが、良いところもたくさんあるということです。みんなが互いに友達の良いところを見つけ合えば、普段の生活も楽しくなり、いじめがなくなっていくと思います。また、いじめは絶対に許されない行為であるということです。いじめによって、悲しい気持ちになったり困ったりしたときには、耐えられずに自殺してしまう人も出てきてしまうかもしれません。友達のためにも自分のためにも、いじめは絶対にやめてほしいと思います。</p>			

No. 9

グループ名	岩沼市立岩沼中学校 生徒会	指導者	蜂谷 志穂 先生
作品名	「いじめって必要ですか？」		芳賀 翔也 先生
作品を通して訴えたいこと		作品の時間	30秒
<p>この作品で訴えたいことは、「勇気」です。いじめが起こっているときに、勇気を出してそのいじめを止めれば、周りの人々の意識も変わると思います。学校生活の中では、なかなか言い出せないと思いますが、少しの勇気さえあれば、いじめはきっと防げます。私達は「いじめが1つでもなくなるように」という気持ちで制作しました。このCMをとおして、勇気を出せずにいる人たちの背中を押し、いじめを減らすことができると思います。</p>			

No. 10

グループ名	岩沼市立玉浦中学校 生徒会	指導者	後藤 亮輔 先生
作品名	「やめなよ！」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>私たち玉浦中学校生徒会では、学校内でいじめ防止スローガン「『やめなよ』は私たちにしか言えない言葉」をつくりました。いじめを防ぐことができるのは、いじめを見ている第三者です。なので、私たちは第三者に向けてのメッセージとしてこのCMを制作しました。このCMを見て、少しでも多くの人が勇気を出して「やめなよ」と言うようになってほしいと思います。</p>			

No. 1 1

グループ名	岩沼市立岩沼北中学校 生徒会	指導者	板橋 薫 先生
作品名	「一人じゃない, みんながいる」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>このCMは「みんなでみんなの居場所をつくる」というテーマで制作しました。CMの中の泣いている女の子は、周りの人たちに声をかけられ、仲間に入れてもらうことで、最後には笑顔になります。いじめられている人に対して周りの人が当たり前のように居場所をつくれれば、その人だけでなく、みんなが安心して笑顔で生活できる空間をつくることができると思います。</p> <p>少しずつ意識して笑顔が増えていくことは、いじめゼロの達成への大きな一歩につながるということが、このCMを見た人に伝わればうれしいです。</p>			

No. 1 2

グループ名	岩沼市立岩沼西中学校生徒会	指導者	一丸 孝博 先生
作品名	「放課後の教室 ～あなたの一言で全てが変わる～」	作品の時間	30秒
作品を通して訴えたいこと			
<p>いじめ、それは絶対にやってはいけないことです。どんな理由があっても許されることはありません。私たちは、宮城県、いえ、この世の中からいじめがなくなってほしいという願いを込め、この作品を制作しました。中学生のほとんどは、おそらくいじめは自分たちには関係ないと思っています。でも、決してそんなことはなく、私たち中学生全員が、思いがけないところで加害者になっていることもあるのです。なので、私たち中学生は、いじめに早く気づき、早急に解決することが大切なのです。「あなたの一言で全てが変わる。」それは、私たちが多くの人に知ってほしいと思うことです。いじめ、それはあなたのすぐそばに……。</p>			